

DCM 上級ユーザー資格取得までの流れと提出物 (参考)

1. 上級コースを受講する方は、ブリーフィング、マッピング、フィードバックの一連のプロセスを経験していることを前提としています。上級コースの中で、それぞれの経験を踏まえたグループディスカッションがあります。
2. 事前提出物一式を研修の1ヶ月前までに提出してください。
*事前提出物の詳細は、受講決定通知で案内します。
☆事前提出物一式には、以下の3点の提出物が含まれます。
 - 1) 4~6時間程度マッピングをし、最低限48時間枠(4時間分)が埋められている生データシート、3名分の電子データ、PD、PEの記述と、それ以外の状況もわかるメモ
 - 2) マッピングした内の1名分の個別ケアサマリー
 - 3) 「DCMを実施して感じたこと、考えたこと」についての感想文
3. 研修は3日間で、最終日に筆記試験があります。
4. 研修終了後5週間以内に、事後レポートを提出してください。
*事後レポートの詳細は、コース内で説明します。
5. 筆記試験及び事後レポートの審査後に、上級ユーザーの合否が決定します。
すべての課程終了後に、英国ブラッドフォード大学公認DCM上級マッパーの資格を得ることができます。

【事前提出物作成にあたり気を付けて頂きたいこと】

1. 倫理的配慮に留意してください。
 - 1) DCM を実施するにあたり、参加者、並びに職員などに対する倫理的配慮に留意してください。
 - 2) 参加者にわかりやすいやり方で説明し、了解を得てください。また、参加者名はイニシャルではなく「山田太郎様（仮名）」のようにわかりやすく表記してください。
 - 3) 感想文以外の提出物については、管理者の了解を得てください。
2. 各提出物は、こちらからお送りする書式（デジタルデータ）にご記入してください。あなた自身の所属、氏名、作成日の欄は、提出物ごとに、忘れずにご記入ください。書式は、印刷する際、A4 になるように設定されています。変更はしないようにお願いします。

* 現段階では、書式はメールでお送りし、入力後、郵送して頂く方式で考えています。
3. 生データシートには、それぞれ最低限 48 時間枠（4 時間分）が埋められている 3 名分のコードが記入されている必要があります。PD、PE の記述と、それ以外の状況もわかるメモ（マニュアル 131 ページ参照）も記載してください。生データシートには、ME 値、BCC、PD、PE の 4 つのコードすべてが記入されている必要があります。
4. ケアサマリーについては、職場等で独自の書式を使用しているかもしれませんが、本コースの事前提出物としては、DCM 基礎コースで配布されている添付のケアサマリー書式を用い、「ケアサマリーの作成について」（ガイドライン）にしたがって作成してください。

* 「ケアサマリーの作成について」（ガイドライン）をお持ちでない方は、大府センターまでお問い合わせください。

* 諸事情のため、数年間マッピングが実施できていない方もいると思います。コード付けをした際のメモ、ケアサマリー作成時のメモなど、コース中で振り返ることができるメモがあれば、受講可能な場合もあります。
5. 感想文は、「DCM を実施して感じたこと、考えたこと」というタイトルで、ブリーフィング、マッピング当日、フィードバックなどを実施した際のことを 800 字程度に記述してください。なお、自施設であっても施設名、フロア名は仮名としてください。

ブリーフィング、マッピング、フィードバックなどを自施設で実施することが困難だった場合は、その理由と、その際に考えたことなどをここに書いてください。また、4 時間以上のマッピングができず、短時間のマッピングを合算している場合も、その理由をレポートに記載してください。